

### ◆人文学研究所の事業

人文学研究所は1963年、人文学研究領域相互の活発な研究活動を支援することを目的に神奈川大学の附属研究機関として設立されました。

人文学研究所の主な活動はつぎの4つです。

- (1) 人文学に関する研究および調査
- (2) 研究資料の収集および整理
- (3) 研究及び調査成果の発表のための刊行物の発行
- (4) シンポジウムや講演会の開催

人文学研究所は人文学系の各種テーマによる共同研究グループの共同研究を大きな柱に、様々なシンポジウム・講演会を開催し、また、『神奈川大学人文学研究叢書』を刊行するなど多彩な活動を行っています。

### ◆人文学研究所の研究活動

人文学研究所の基本的な活動は、共同研究グループによる調査・研究活動と国外研究機関との学術交流の二つに分けることができます。本研究所創設以来、活動を展開した共同研究グループは総数30グループ以上を数えます。

#### 【共同研究グループ一覧】

	グループ名	研究テーマ
1	日中関係史	近代以降、現在までの日中関係の諸問題
2	文化のかたち	21世紀の新千年にふさわしい総合的な文化や文明の把握をめざして、新しい『知の地平』を切り開く。
3	西洋文化の受容 ―思想と言語―	日本の近代化に際してのヨーロッパ及びアメリカ文化の受容
4	各国地方史の比較的研究 ―新編中国地方志叢書を中心として―	世界史を現存する国家、民族、文明ではなく、地方史という地域史的観点から見直すことを目的とする。
5	東アジア比較文化研究	日本、中国、朝鮮等の言語、文学、歴史、民族などの伝承文化の比較研究。
6	色彩と文化	世界の色の記号に関する実証的研究。
7	神々のコスモロジー	世界と日本の宗教に関して、様々な分野の研究者がその世界観、教養、意識等、具体的なあり方を考察し、宗教や神々意義を再検討する。
8	言語変異研究	1. 地域文化と言語変異 2. 言語政策と言語変異 3. 言語教育と言語変異
9	ジェンダー・ポリティクスのゆくえ	ジェンダー・ポリティクスにかかわる諸問題についての学際的・国際的研究。
10	コミュニケーション研究会	多面的な人間の意義と行動の理解及びそれを基にしたコミュニケーションの方法論についての研究。
11	植民地近代性の国際比較	「植民地近代性」の概念を軸として、日本、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の政治、社会、文化、歴史の比較研究を行う。
12	ブランゲ文庫研究	神奈川大学図書館が所蔵するブランゲ文庫の研究を行う。
13	表象文化研究	1. 文字、図像、絵画、演劇、映像など、再現＝表象としての美学探究 2. ジェンダー、植民地など、代表＝表象としての文化政治学的な探求 3. 表象を軸とした、都市、身体、メディアなど、幅広い文化学の探求
14	活字文化の研究	1. 活字を通じた、日本語教育と異文化理解 2. 活字文化普及のための教育、啓発手法 3. 活字文化普及が与える社会、経済的影響
15	モダリティ研究プロジェクト	統語論的及び語用論アプローチによるモダリティの対照研究。

◆ 2009 年度講演会（人文学研究所主催）

	日時	講演者	テーマ	肩書き	場所
1	4/17	竹内敦彦	景観の色に関する地理学的視座と地理学の醍醐味 ―ヨーロッパの建築景観を中心に―	日本工業大学名誉教授	17-401
2	6/8	島本雅喜	「中国残留日本人」から考える ―支援の現場から―	厚生労働省事務補佐官 (通訳)	17-216
3	6/18	栄枝慶樹	ビジネスとしてのスポーツマネージメント ―プロスポーツ選手の実情―	㈱スポーツビジネスマネージメント	23-307
4	7/11	佐藤良明	演歌 ―日本のポストモダン歌謡―	分筆家、元東京大学総合文化研究科教授	20-417
5	7/16	稲田清貴	JISS の概要と我が国の競技力向上の仕組み	文部科学省競技スポーツ課	23-307
6	7/24	吉本耕治	言語文化研究の楽しみ ―現代の文化交流を視野にいれて―	関西外国語大学短期大学部教授	17-215
7	11/5	堀尾直美	フォーカシング体験セミナー	臨床心理士	17-216
8	1/6	菅野陽子	被害者の心理について	臨床心理士	11-111

◆学術交流とシンポジウムの開催

人文研究所では 1991 年から 2001 年まで中国の浙江大学日本文化研究所との共催により毎年シンポジウムを開催しました。その後も、開催形態を変えてシンポジウムを開催して、国際的な学術交流を続けています。過去 10 年間のシンポジウム等の開催日・テーマ・場所は以下のとおりです。

◇ 2000 年 10 月 16 日 神奈川大学人文学研究所・浙江大学日本文化研究所共催

「第 10 回日中学術交流シンポジウム」, 浙江大学西溪キャンパス

◇ 2000 年 10 月 17 日 日中関係史共同研究グループ開催シンポジウム

「日本における中国人留学生問題」, 浙江大学西溪キャンパス

◇ 2001 年 2 月 19 日 神奈川大学人文学研究所・人文学会共催

「21 世紀―アジアの座標軸を求めてⅠ―東アジアの相互認識」, 神奈川大学・横浜キャンパス

◇ 2001 年 10 月 4 日 神奈川大学人文学研究所・人文学会共催

「21 世紀―アジアの座標軸を求めてⅡ―戦後補償と在外外国人の人権」, 神奈川大学・横浜キャンパス

◇ 2001 年 11 月 5 日～6 日 神奈川大学人文学研究所・浙江大学日本文化研究所共催

「第 11 回日中学術交流シンポジウム―歴史と文学の境界」, 神奈川大学・横浜キャンパス

◇ 2001 年 11 月 24 日 神奈川大学人文学研究所・人文学会共催

「東アジア近代史とラジオ放送の誕生」(科研―「東アジア・ラジオ放送史構築のための国際共同研究」との共同開催)―神奈川大学・横浜キャンパス,

◇ 2001 年 12 月 1 日 神奈川大学人文学研究所・人文学会共催

「21 世紀―マルクス歴史学は死んだのか」, 神奈川大学・横浜キャンパス,

◇ 2002 年 11 月 5 日～11 日 台湾・香港・上海の大学・研究機関との意見交換

◇ 2003 年 11 月 2 日 神奈川大学人文学研究所・人文学会共催

「アジアのポップカルチャーと日本」, 神奈川大学・横浜キャンパス,

◇ 2004 年 11 月 5 日～6 日 浙江大学日本文化研究所・中国日本史学会主催

国際シンポジウム「道教と日本文化」, 中国浙江省杭州市内,

- ◇ 2005 年 11 月 11 日, 12 日 神奈川大学人文学研究所・人文学会共催  
国際シンポジウム「世界から見た日本文化—多文化共生社会の構築のために—」. 神奈川大学・横浜  
キャンパス
- ◇ 2007 年 11 月 17 日 神奈川大学人文学研究所主催  
国際シンポジウム「日本の文化変容と異文化—近世から近代へ」. 神奈川大学・横浜キャンパス
- ◇ 2009 年 10 月 3 日 神奈川大学人文学研究所主催  
国際シンポジウム「表象としての＜日本＞：近代ヨーロッパの場合—神奈川大学・ヴェネツィア大学  
学術交流の現場から—」. 神奈川大学・横浜キャンパス

#### ◆人文学研究所の刊行物

人文学研究所は研究所の諸活動によって得られた成果を社会に還元するために『人文学研究所報』を年に 1 回発行しています（2009 年 3 月, 第 42 号）。国外の研究機関との学術交流の成果としては, 浙江大学日本文化研究所共編「中日文化論叢」（第 1 号～第 10 号）を発行しています。さらに, 共同研究グループの研究成果をまとめた学術書シリーズ『神奈川大学人文学研究叢書』を発行しています。